

Enjoy!!ティーボール徳島大会 2025

どこか点ウィズティーボール競技の約束（ルール）

1 目 標

- (1) 笑顔いっぱいティーボールを通して、外遊びのおもしろさを体感する。
- (2) ティーボールを通して、打つ、走る、捕る、投げるという運動の基本動作を楽しく学ぶ。
- (3) ティーボールを通して、人との関わり方を学び、社会性を養う。
- (4) ティーボールを通して、支える人たちへの感謝の気持ちを育む。

2 競技場（競技図参照）

- (1) 塁間の距離は、14mとする。
- (2) 塁はベースとする。ただし、触塁はしないで内野マーカースと外野マーカースの間を走る。
- (3) 本塁、バッターズサークル（安全確保）は、本塁プレートを基点の半径1.5mに円を描くようにラインを引く。
- (4) 本塁は、本塁プレート上またはその位置に置いたバッティングティー台とする。
- (5) 打者は、ボールを打った後、走者として各塁を順番に進塁し、一塁（1点）・二塁（2点）・三塁（3点）・本塁（4点）へと回り、回った塁により得点が認められる。ベース間の逆走は認めない。
守備側のチームは、打球処理をして、打者走者が進塁する塁へ走者より早くボールを送球するかまたは直接ベース踏むと走者はアウトとなり、進塁することができない。
- (6) バッティングティー後方5mに、攻撃側ベンチの安全ラインを引く。

3 約 束

- (1) 打者は、思いきりボールを打つ。三振アウトなし。
- (2) 打者は、打った後、バットをフープかコーン※¹の中に入れて走る。
- (3) 打者走者は、多くの得点を得るため、次の塁ベースを目指してしっかり走る。
- (4) 守備者は、打ったボールを捕るために動く。守備者は「オーケー」とか「まかせた」などと声を出して捕りに行く。
- (5) ボールを捕った選手は、打者走者が進塁しようとしているベースに素早く返球する。
- (6) 指導者と打者チームの全員は、打者走者が一塁ベースを回ったら「1点」、二塁なら「2点」、三塁なら「3点」、本塁（バッターズサークル）を超えたなら「4点」、と大きい声で打者走者の得点を数える。審判員（ティーボール・ティーチャー）はこれを確認し、その打者の得点を決定する。

- (7) 打者チームの全選手は、バッティングティー後方 5 m の打者チームのベンチライン（安全ライン）後方で応援する。
- (8) 内野手は 4 名～5 名とする。外野手は 3 名～4 名とする。なお、守備選手は対戦チームと同数とする。
- (9) 大人の競技者は 3 名以内とし、両チームの選手数は同数でなければならない。大人 3 名は、常時出場し、本塁手、1 塁手、2 塁手、3 塁手のいずれかの守備に入らなければならない。
- (10) 大人の競技者は、守備のみのサポートとし、ビブス（打順）は付けないこととする。

4 用 具

- (1) バッティングティー台 1 本、塁ベース 4 枚、マーカー 20 枚。
- (2) ボール（11 インチインドア用ティーボール・オレンジ）2 個
- (3) バット（S、M サイズ）
- (4) フープまたはコーン 1 個（打者がバットを入れる場所）※約束1
- (5) ビブス（打順に合わせて付ける）
- (6) 用具は、日本ティーボール協会公認用具とする。

